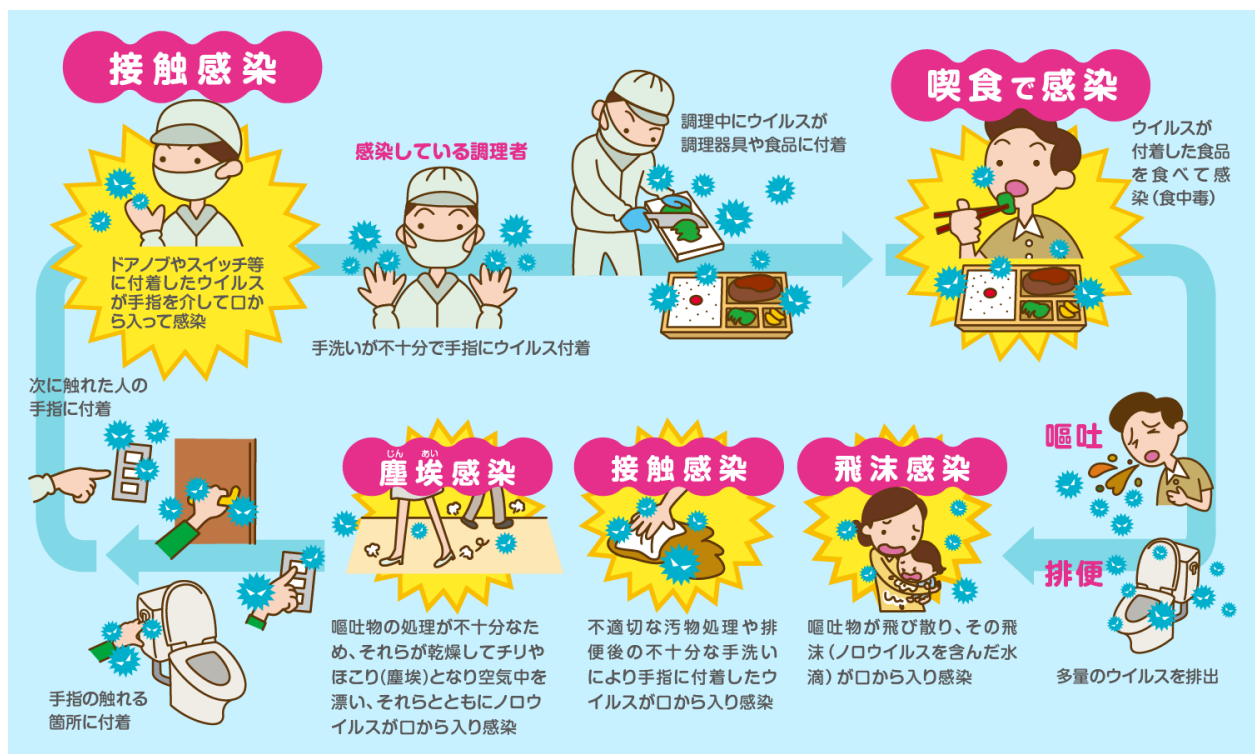




ノロウイルス対策 さまざまな感染経路

株式会社プロウェーブ
2024年1月10日

ノロウイルスが多量に排出された感染者の嘔吐物や糞便が元となり、手指やドアノブ等の環境、食品を介してあちこちに広がり、多様な経路で感染が起こります。ノロウイルスは環境中で長期間感染性を維持するため、特に流行期は様々な場所にウイルスが存在していると考えられますので、そこからの感染を断ち切る対策をとることが必要となります。



喫食で感染（食中毒）

- ◇ 食品は十分に加熱しましょう。
- ◇ 調理施設での汚染が広がらないよう、調理従事者の手洗いと、調理器具や施設内の洗浄をしっかりと行いましょう。
- ◇ 調理施設内にウイルスを持ち込まないために、健康チェックを習慣化し、感染が疑われる場合は自己判断せず上司の指示に従いましょう。



飛沫感染

- ◇ 適切な汚物処理を行い、処理後もしっかりと手洗いを行いましょう。



接触感染

- ✧ 付着したウイルスを洗い流すため、しっかりした手洗いをしましょう。
- ✧ 多くの人がよく触れる場所をこまめに清浄しましょう。
- ✧ 適切な汚物処理を行いましょう。



塵埃感染

- ✧ 適切な汚物処理を行い、処理後もしっかり手洗いをしましょう。
- ✧ 汚物の処理後、しばらくの間は汚染された場所を立ち入り禁止とし、消毒を継続しましょう。
- ✧ 汚物処理に使用した用具は使い捨て、または消毒を行い、ウイルスが付着したまま放置しないようにしましょう。

